

2025年12月15日

2年連続ファイナリスト選出！CUCホスピス「ReHOPE 東戸塚」が、 サントリーウエルネス社主催「人生100年時代の物語大賞」でブロンズ受賞

4年ぶりに外の世界へ。ご入居者さまの「Jリーグ推し活エピソード」が 全国1万名超の共感を呼ぶ

がん末期や神経難病の方のためのホスピス事業を運営する株式会社シーユーシー・ホスピス(本社:東京都港区、代表取締役:藪 康人)は、同社が運営するホスピス型住宅「ReHOPE 東戸塚」のエピソードが、サントリーウエルネス株式会社主催の「人生100年時代の物語大賞」において、ブロンズ(銅賞)を受賞したことをお知らせいたします。同施設は昨年も同アワードにおいてファイナリストに選出され、「いのちのかがやき賞」を受賞しており、2年連続での選出となりました。

受賞したエピソードは、4年間一度も外出していなかったご入居者さまが、医師、看護師、施設スタッフの連携のもと、スタジアム観戦に挑戦し「推し活」を楽しんだ物語です。

「人生100年時代の物語大賞」特設サイト:

<https://www.suntory-kenko.com/besupporters/award/>



▲左からReHOPE 東戸塚スタッフ(3名)、同施設長 田中(右から2番目)、プレゼンターの岸田奈美さん(右端)

■受賞エピソード『4年ぶりに外の世界へ～植竹さんが教えてくれたこと～』の概要

パーキンソン病を抱えながらも前向きな植竹さんが「Be supporters! (Beサポ!)(※)」の活動を通じ、4年間一度も外出していない中でスタジアム観戦に挑戦。施設スタッフやご家族、横浜FCの協力のもと、困難を乗り越え観戦を実現しました。当日は推しの選手からサインボールを受け取り、観戦を心から楽しみ、「次は応援歌を覚えたい」と新しい目標をお持ちになりました。

植竹さんはその後、9月に旅立たれましたが、この経験はご入居者さまに寄り添ったケアの事例として、スタッフにとっての大きな学びとなりました。

■今回の受賞について

受賞したエピソード『4年ぶりに外の世界へ～植竹さんが教えてくれたこと～』は、全国1万名超の一般投票を含む選考で高く評価いただきました。これは、ケアの現場で『「前を向いて生きる」を支える。』という当社の理念を、ReHOPE 東戸塚のスタッフが具現化したことに対する評価であると、大変光栄に受け止めております。

ReHOPE 東戸塚は、2024年2月より本プロジェクトに参加しています。開幕戦を施設で観戦するイベントや、選手がReHOPE 東戸塚に来訪するファンミーティングの開催など、さまざまな形でJリーグ 横浜FCとの交流を続け、ご入居者さまの生きがい創出に取り組んでまいりました。



ReHOPEには医療的ケアが必要な方がご入居されており、外出の際には医師、看護師が帯同し、専門的な医療体制を整える必要があります。試合観戦中も痰の吸引などのケアが必要であり、挑戦の難易度は非常に高いものでした。それでもこの活動を継続しているのは、施設スタッフがご入居者さまの喜びや生きがいを生み出すことに、何よりも大きなやりがいを感じているためです。ReHOPE 東戸塚では、来年度以降も「Beサポ！」を通した活動を継続して実施していく予定です。今回の受賞を励みに、「前を向いて生きる」を支えるケアの価値を、CUCホスピス全体の取り組みの中でさらに深化させ、すべてのご入居者さまへ、希望を叶えるケアの提供に努めてまいります。

■ReHOPE 東戸塚施設長 田中貴大のコメント

植竹様の「4年ぶりの外出」は、私たち施設にとって医療面・ケア面ともに大きな挑戦でした。しかし、「私が施設代表だね、行きたい！」という植竹様の一言が、スタッフ、主治医、ご家族、そして横浜FCの皆様を大きく動かしてくださいました。

この物語を通して、病とともにあっても“目標を持つことで人生の可能性は広がる”という大切な気づきを、改めて教えていただきました。

そして植竹様は、周囲を笑顔にすること、挑戦し続けること、人生を楽しむこと—その全てを私たちに示してくださいました。

今回の経験と受賞を励みに、植竹様がそうだったようにホスピスを必要とされる方々の「想い」と「人生」に寄り添い、より一層、その人らしい時間を支えられるケアを実践してまいります。

■「人生100年時代の物語大賞」について

「人生100年時代の物語大賞」は、サントリーウエルネスが推進する、高齢者施設のご入居者の方々が地元サッカークラブを応援するプロジェクト「Be supporters！（Beサポ！）」の取り組みのひとつで、参加施設で生まれた物語を募集し、表彰するものです。ファイナリストにノミネートされた5組のうち、全国1万名超による一般投票を含む選考によって、得票数順に決定します。ReHOPE 東戸塚は第三位のブロンズに選ばれました。

(※)Be supporters！（Beサポ！）とは：

普段は周囲に「支えられる」場面の多い高齢の方が、地元のJリーグクラブのサポーターとなり、誰かを「支える」ことで、心も体も元気になろうというプロジェクト。サントリーウエルネスがJリーグと協働で推進しており、2024年時点で全国230施設・延べ10,000人に活動が広がっています。

■会社概要

株式会社シーユーシー・ホスピス

がん末期や神経難病の方のためのホスピス型住宅や、訪問看護・介護事業所を運営。全国53か所にてサービスを展開しています(2025年11月末時点)。

「医療という希望を創る。」というCUCグループの使命のもと、病や障がいとともに生きる方が手厚いケアを受けながら、希望のある暮らしを送ることができるようサポートしています。

※株式会社シーユーシー・ホスピスは株式会社シーユーシーの100%子会社です。

社名：株式会社シーユーシー・ホスピス

本社所在地：東京都港区芝浦3丁目1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 15階

設立：2017年3月3日

代表者：代表取締役 藪康人

事業内容：ホスピス型住宅運営、訪問看護事業所運営、訪問介護事業所運営

URL：<https://cuc-hospice.com/>

CUCグループについて

株式会社シーユーシーと国内連結子会社18社、海外連結子会社24社からなるグループ企業です(2025年9月末時点)。「医療という希望を創る。」を使命に掲げ、さまざまな医療課題の解決に向けて、国内外の医療機関の支援やホスピス・居宅訪問看護など多角的な事業を展開しています。

社名：株式会社シーユーシー

本社所在地：東京都港区芝浦3丁目1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 15階

設立：2014年8月8日

代表者：代表取締役 濱口慶太

上場市場：東京証券取引所 グロース市場(証券コード 9158)

資本金：7,669百万円(2025年3月末時点)

主な事業内容：医療機関向け経営支援事業

URL：<https://www.cuc-jpn.com>

本件のお問い合わせ・取材申し込み先

株式会社シーユーシー 広報担当 片柳

メール：pr@cuc-jpn.com